

新型コロナウイルス 第5波における体制と成果

札幌市保健所医療対策室

第5波における体制づくり

■ 迅速な応援職員の配置

各班の業務量に応じて必要人員をあらかじめ算出し、陽性者数増加の兆候を捉えて早めに応援職員を依頼

■ 区コロナ対策室の早期再開

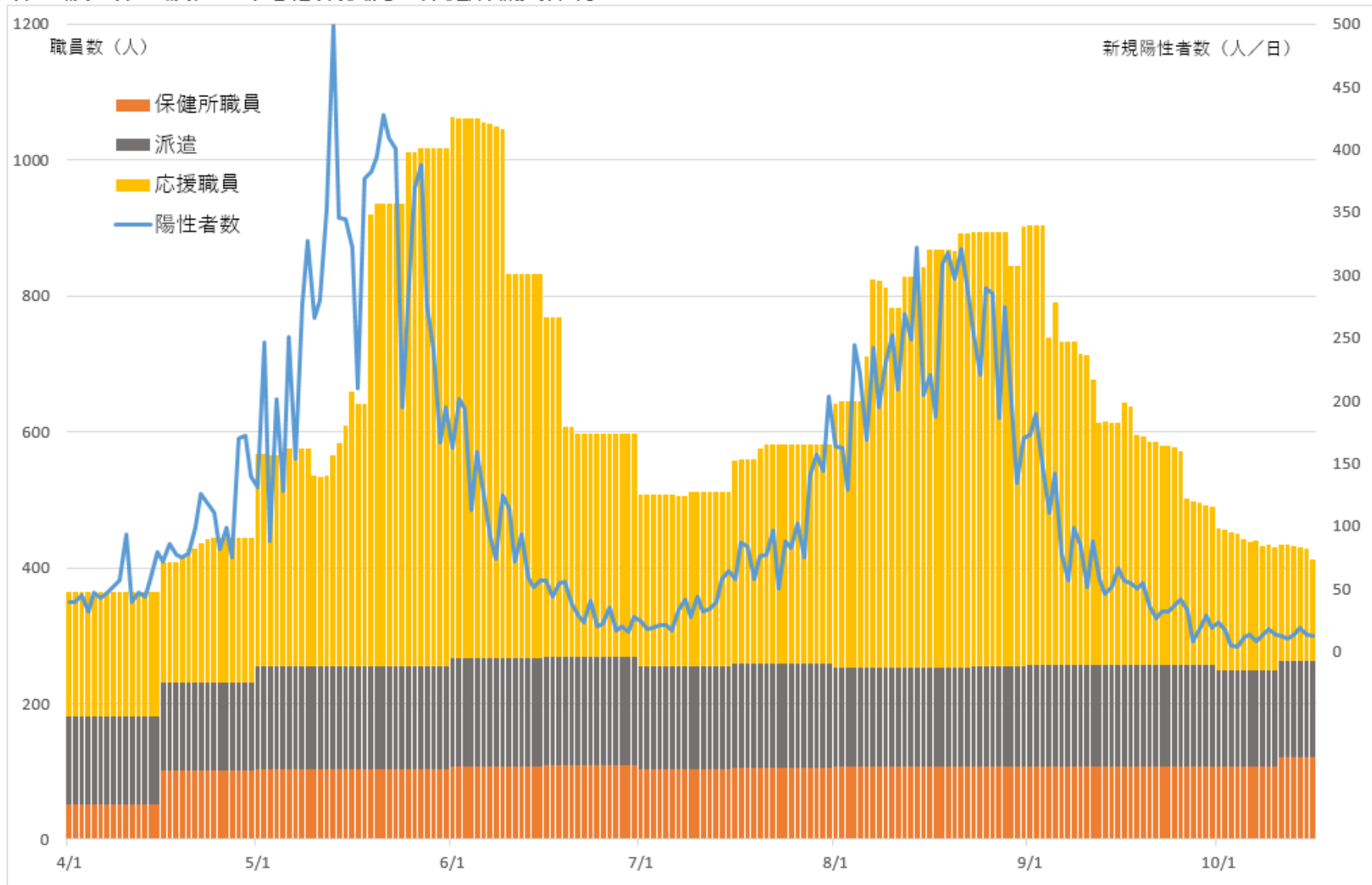
陽性者数が増加する傾向が見られた時点で、区コロナ対策室を再開

区コロナ対策室の実績

	第4波		第5波	
	開設日	処理件数	設置期間	処理件数
患者調査班	5/19～6/7	2,629件	8/12～9/12	2,995件
自宅療養班	5/27～6/20	1,786名	8/6～9/10	3,012名

○課題 通常業務を行いながらの応援職員の派遣については今後検討が必要

第4波～第5波における感染状況と保健所職員体制

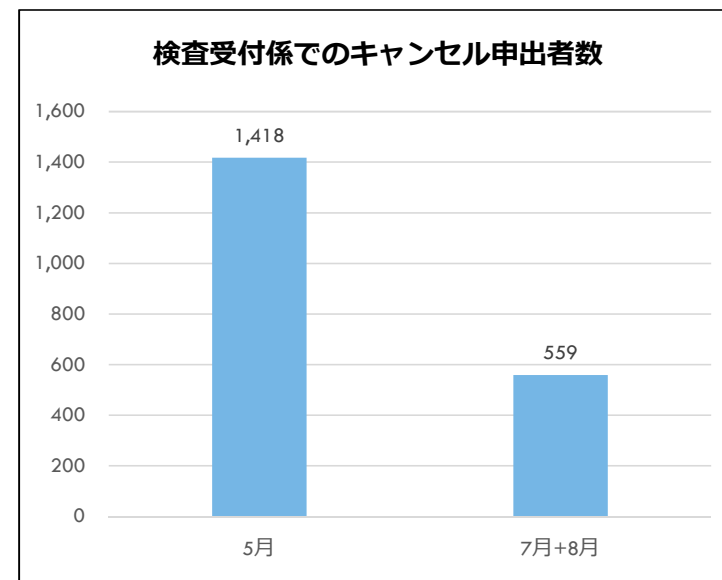


■ 検査体制の強化

- ・ 検査受付体制の強化（#7119増員、受付業務の見直し等）
- ・ 第3 PCRセンターの設置
- ・ 受検者への唾液検査キット配送時間を短縮
- ・ 発熱外来での検査機能の強化



- ・ 検体採取場所（保健所、発熱外来）の役割分担
- ・ 検査対象者の要望に合わせた検査方法の提供
- ・ 安定した検査体制の構築

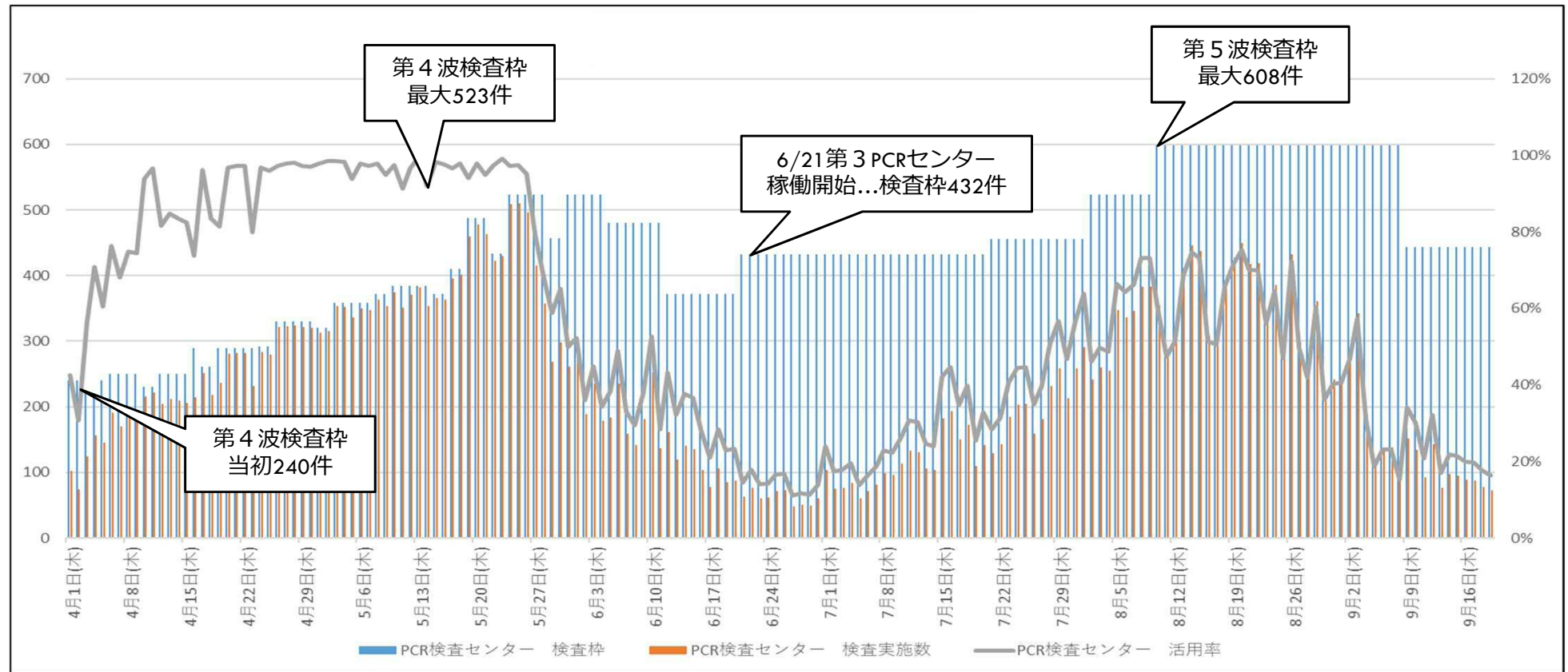


【キャンセル理由の例】

- ・ 民間検査を受けることとした
- ・ 病院を探すこととした
- ・ もう少し様子をみたい

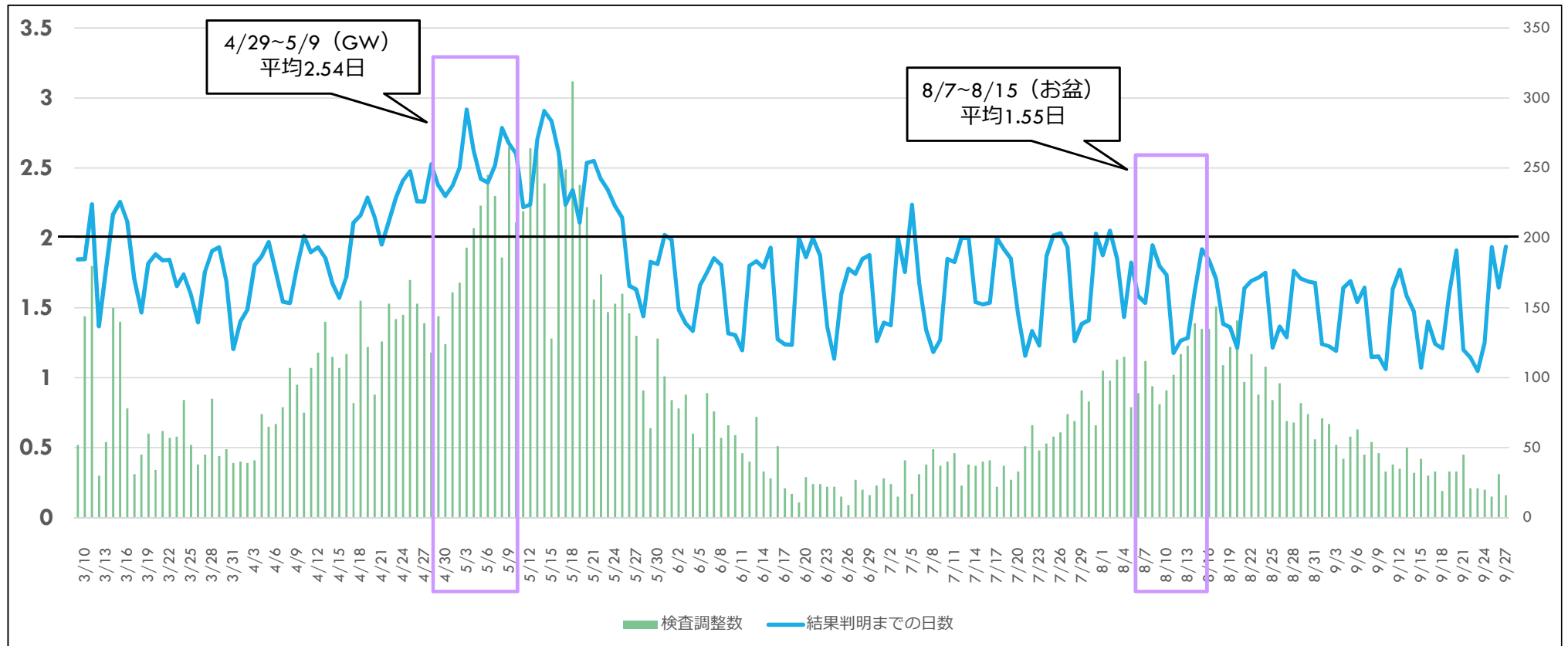
PCRセンターの活用率推移

※臨時PCRセンター分を除く



第4波、第5波ともに段階的に検査枠を増加したが、第4波では、検査対象者がPCRセンターの検査枠を超えてしまい、活用率100%を超える日が1か月以上続いていた。第5波では第3PCRセンターを設置したことや、発熱外来での検査機能が強化されたため、安定的な検査を実施することができた

検査受付から結果判明までの平均日数※クラスター対応分、濃厚接触者分、臨時PCR分を除く



第4波では、PCRセンターの受け入れ枠超過等により、検査調整に時間を要して遅延が生じたが、第5波では受付から検査までの一連の流れの体制を強化したことから、調整件数が増えても、結果判明日の遅延は生じなかった。